

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	22985
事業名	リサイクルプラザ・リユースプラザ運営管理費					
評価担当課	所属名	環)環境事業部 循環型社会推進				
	課長名	岡本 俊幸	担当者名	河合 美奈・佐藤 真	電話番号	011-211-2928
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	戦略ビジョン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	
事業の性質	<input checked="" type="radio"/> 経常経費	<input type="radio"/> 臨時的経費				
	<input type="radio"/> 内部管理	<input type="radio"/> 法定経費	<input type="radio"/> 指定管理			
事業内容	実施形態	<input type="radio"/> 直営	<input type="radio"/> 一部委託	<input checked="" type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 補助助成	<input type="radio"/> その他
	目的	短期	ごみ排出量の減量(1人1日当たり100gの減量) 家庭から出る廃棄ごみ量の減量(1人1日当たり340g以下)			
		長期	市民が廃棄物の減量及び資源の有効活用に関する知識と理解を深め、自主的に活動することにより、家庭から出る廃棄ごみ量を減量する。			
取組内容	リサイクルプラザ宮の沢、発寒工房・リユースプラザで、次の事業を行う。 ①リユース家具等の清掃・整備・保管・展示提供②教室・講座・イベント等による普及啓発 ※リサイクルプラザ宮の沢において、R3. 3～R4. 1は所在施設が改修工事のため市民利用停止となったことから、一時的に移転し、事業は別会場で実施する等の対応を行った。 地区リサイクルセンターで、次の事業を行う。 ①新聞・雑誌や古着など、22品目の資源物等を持ち込める回収拠点の運営					
実施結果	・リサイクルプラザ宮の沢及びリユースプラザの来館者数 R2年71,176人→R3年43,946人(対前年比38.3%減) ・両プラザのごみ減量に係る教室・講座・イベント等の参加者数 R2年8,141人→R3年5,340人(対前年比34.4%減) ・両プラザのリユース家具等の販売数 R2年3,967個→R3年2,517個(対前年比36.6%減)					
事業実施における工夫点	各施設(リサイクルプラザ宮の沢、リユースプラザ、発寒工房、地区リサイクルセンター)の管理運営を民間団体に担ってもらうことで、市民の視点からの各種啓発事業を実施している。					
対象者	市民	開始	平成12年度	終了	0	年度
関連法令・条例・要綱等	札幌市リサイクルプラザ条例、札幌市リサイクルプラザ条例施行規則					
他都市の状況	他政令市では、千葉市、堺市、熊本市を除く16都市がリユース品を提供する施設やごみ減量啓発を行う施設などを設置しており、仙台市や福岡市など13市では2か所以上の施設を設置している。これまで、神戸市や熊本市など、事業の見直し等により一部施設を閉鎖した市もある。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	93,828	95,337	96,694	110,063	
うち特定財源	13,464	11,632	11,632	12,907	
人工	1.2	1.2	1.2	1.2	
人件費	8,640	8,640	8,640	8,640	
計(事業費+人件費)	102,468	103,977	105,334	118,703	
事業費の内訳	令和3年度決算	・リサイクルプラザ宮の沢指定管理業務 24,233千円 ・発寒工房、リユースプラザ、地区リサイクルセンター運営管理業務 40,471千円 ・リサイクル品等収集運搬業務 29,813千円 ・機械警備業務(3か所) 455千円 ・その他 1,722千円			
	令和4年度予算	・リサイクルプラザ宮の沢指定管理業務 24,233千円 ・発寒工房、リユースプラザ、地区リサイクルセンター運営管理業務 49,733千円 ・リサイクル品等収集運搬業務 32,818千円 ・機械警備業務(3か所) 396千円 ・その他 2,883千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	リユース家具等の販売数(リサイクルプラザ・リユースプラザ)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	3,967個	3,100個	2,517個	3,600個	
活動指標2	指標名	教室イベント等の参加者数(リサイクル・リユースプラザ)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	8,141人	10,000人	5,340人	17,200人	
成果指標1	指標名	来館者数(リサイクル・リユースプラザ)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	71,176人	68,000人	43,946人	99,800人	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	来館者数、講座・イベント等の参加者数、リユース家具等の販売数のいずれも目的を達成することができなかったが、新型コロナウイルス感染症対策のための休館やイベント中止のほか、リサイクルプラザにおいては施設の改修工事に伴う休館・一時移転などの影響によるものであり、柔軟な対応が求められる状況の中で、最大限の能力を発揮した。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	新型コロナウイルス感染症対策に伴う休館などにより、予定していた教室・講座の一部を行うことができなくなってしまったが、延期するなど臨機応変な対応を行った。また、利用者のニーズにあわせて計画・実施されており、感染症対策に係る制約がある中で、内容、実施回数、経費等適切な規模であった。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	市民団体への委託等により施設運営を行うことは、市民目線からの啓発事業を可能としており、適切かつ効率的な手法である。 また、リユース家具等の展示提供や、講座等の事業を実施することは、ごみ減量や資源の有効活用の推進及び普及啓発において効果的な手法である。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	リサイクルプラザ宮の沢で実施したアンケートにおいて、利用者の満足度については「とても満足」「ほぼ満足」の回答が82.6%を占めたほか、教室等の満足度については「とても満足」「満足」の回答が97.2%を占めた。 また、リユースプラザで実施したアンケートにおいて、利用者の満足度について「とても満足」「ほぼ満足」の回答が90.5%を占めた。			
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	3R(リデュース「発生・排出抑制」、リユース「再使用」、リサイクル「再生利用」)の中でも特に2R(リデュース・リユース)を推進するために、施設における展示手法の見直しなど、有効な事業の検討が必要である。また、若年層の来館促進に向けて、子供向けの事業を積極的に実施し、広報手法や教室・講座などの内容を検討することが必要である。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	利用者のニーズに合わせるため、アンケート結果などを踏まえ、教室・講座の内容を見直した。またリサイクルプラザ宮の沢は、改修工事に伴う一時移転にあわせた事業を検討・実施した。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	新型コロナウイルス感染症対策による影響が大きく、いずれの指標も目標を下回ってしまったが、動画の活用など、ウィズコロナ下における事業継続のための創意工夫が行われたほか、感染症対策を徹底した上で利用者のニーズに合わせた教室講座等を実施した。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善 ● 現状維持 ○ 休止・廃止 新型コロナウイルス感染症対策を徹底の上、継続して現在の業務を実施していく。			
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 継続して現在の業務を実施していく。		見直し効果額	0 千円